

## 『人事データ分析でできること/気候変動に対応するワサビ栽培』

主催：静岡市清水産業・情報プラザ（指定管理者：静岡商工会議所）

共催：新産業開発振興機構

今回は、静岡県立大学に協力いただき、第136回の講演会を開催いたします。今回はハイブリッド(会場視聴とオンライン視聴)講演会とさせていただきます。多数の方のご参加をお待ちしております。ぜひこの機会にご参加いただき、今後の事業活動等にお役立ていただきますようご案内申し上げます。

開催日時 2021年12月23日(木)

講演会 17:00~18:30

方 法 会場視聴：静岡市清水産業・情報プラザ 3階研修室1・2

オンライン：参加申し込み者にZoom参加のアドレス、パスコードをご連絡いたします

講演 1 『人事データ分析から中間管理職の重要性を考える』

静岡県立大学 経営情報学部 経営情報学科 准教授 上原 克仁 氏

講演 2 『気候変動に対応する静岡のワサビ栽培研究』

静岡県立大学 食品栄養科学部 環境生命科学科 教授 谷 晃 氏

参加料 無料

定員 会場視聴 30名 オンライン視聴 100名 (Zoom ウェビナーを利用いたします)

申込方法 下記申込書に記入してFax、E-mailで申し込み下さい。

\*オンライン視聴の場合は必ずメールアドレスをご記入下さい。

事務局 静岡商工会議所 産業振興課(担当:岸端、堀川)

TEL:054-355-5400 FAX:054-352-7817 E-mail:info@siip.jp



本会には、宝くじ  
収益金の一部が  
使用されています

※申込書にご記入いただいた情報は、静岡商工会議所からの各種連絡・情報提供に利用する事がありますことをご了承下さい。

### 第136回「産学官交流」講演会(静岡県立大学) 参加申込書

2021年12月23日(木)開催

Fax 054-352-7817

事業所名			
TEL		FAX	
参加者	氏名	所属・役職	
	※参加項目にレ点を付けてください <input type="checkbox"/> 会場での聴講 <input type="checkbox"/> オンラインでの聴講(メールアドレス: _____)		

※申込書にご記入いただいた情報は、当日名簿として利用するほか、商工会議所からの各種連絡・情報提供に利用する事がありますのでご了承ください。又、今後の『産学官交流会』のご案内を送付させていただきます。(原則E-mail案内とさせていただきます。)

## 講演1 『人事データ分析から中間管理職の重要性を考える』

静岡県立大学 経営情報学部 経営情報学科 准教授 上原 克仁 氏

ビジネスの世界では、計画し (Plan)、実行し (Do)、評価し (Check)、改善のために行動 (Action) する、PDCAサイクルを回すことが奨励、実践されています。しかし、人事に関しては、個人レベルの豊富なデータが蓄積されているにもかかわらず、Plan と Do は行うものの、Check と Action は行なわれていない企業が多いのが現実です。今回は、これまでに人事データや業績データを用いて行った研究結果のいくつかをご紹介します、中間管理職の重要性を考えてみたいと思います。そして、人事データを使って分析を行うとこんなことができるんだとご理解いただき、皆様の企業の人材マネジメントに活かしていただければと思います。



【略歴】大手建設会社勤務、衆議院議員秘書を経て、2008年一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程修了、博士（経済学）。一橋大学、青山学院大学、天理大学を経て、2017年静岡県立大学経営情報学部講師、2018年現職。静岡県雇用対策審議会委員。労働経済学、人材マネジメントを専攻。人事データをもとに、内部労働市場の機能と人事制度の効果に関する実証研究を行っている。

## 講演2 『気候変動に対応する静岡のワサビ栽培研究』

静岡県立大学 食品栄養科学部 環境生命科学科 教授 谷 晃 氏

地球温暖化により農業生産物の量と質が、様々な作物種で影響を受けている。静岡の特産品であるワサビも、特に夏季の高温によって、軟腐病などの発生増加による品質低下や枯死が起り、かつワサビ田に植える苗の生産も歩留まり率の低下など影響が出ている。気候変動の影響を軽減する緩和策および抜本的対策が求められている。本講演では、静岡県のワサビ栽培の現状を紹介するとともに、静岡県農林技術研究所との共同研究として行ってきた、環境調節技術および環境モニタリング手法を活用した温暖化対応研究の成果を紹介する。



ワサビ田に設置した、試作品の赤外線吸収ネット



開花したワサビ

【略歴】大阪府立大学大学院農学研究科博士後期課程中退・博士（農学）。大阪府立大学農学部助手、東海大学開発工学部講師、助教授を経て、静岡県立大学環境科学研究所准教授、2015年より食品栄養科学部准教授、2017年より現職。植物環境調節工学、農業気象学、大気環境学、生態工学が専門。国家資格の気象予報士および通訳案内士（英語）を45歳～48歳の間に取得。大学ではSDGsイニチアティブ推進委員長（学長補佐）を務める。